

※ 解答及び配点はイーアカウントが独自に作成したものです。

第7回建設業経理士検定試験 1級 原価計算 解答速報

※ 解答及び配点はイーアカウントが独自に作成したものです。試験機関による実際の正解・合格を保証したものではありません。ご了承の上ご覧ください。また、解答の著作権は、株式会社 TRADECREATE イーアカウントに帰属します。

〔第1問〕 (20点)各10点 (イーアカウントの予想配点です。)

問1 原価計算制度における原価の本質の要件は、次の4つがあげられる。①原価は経済価値の消費である。財貨等を取득する際に経済的対価を必要とする価値の犠牲が計算の対象となる。②原価は経営において作り出された一定の給付に転嫁される価値であり、その給付にかかわらせて、把握されたものである。③原価は経営目的に関連したものである。④原価は正常的なものである。異常や偶然的な要因により発生した費用は原価とはならない。

問2 固定費負担を平準化するためには、工事間接費の配賦方法として正常配賦法を措置することが適切である。正常配賦法とは、配賦理念として間接費配賦の正常性を強調した手法であり、1年間、場合によっては2～3年に共通した正常配賦率を算定し、正常配賦率をもって配賦額を計算する方法である。年間の季節性の操業変動による配賦額の多小によって比較可能性のある原価資料を作成できないという実際配賦法の問題点を解消できる。

〔第2問〕 (10点)各2点 (イーアカウントの予想配点です。)

記号(AまたはB)

1	2	3	4	5
A	B	B	A	A

〔第3問〕 (14点) (金額・記号両方正解で●4点 ○3点) (イーアカウントの予想配点です。)

① ● ￥	10,830	記号(AまたはB)	A
② ○ ￥	31,640	記号(AまたはB)	B
③ ● ￥	40,950	記号(AまたはB)	B
④ ○ ￥	35,100	記号(AまたはB)	B

〔第4問〕 (16点)●6点 ○5点 (イーアカウントの予想配点です。)

(1)	￥	●1,111,950	
(2)	第一工程	￥	○1,293
	第二工程	￥	○1,765

※ 解答及び配点はイーアカウントが独自に作成したものです。
第7回建設業経理士検定試験 1級 原価計算 解答

[第5問] (40点) (イーアカウントの予想配点です。)

問1 (28点) ●4点

完成工事原価報告書	
自平成X1年4月1日 至平成X2年3月31日	
群馬建設工業株式会社 (単位：円)	
I . 材料費	●1,449,470
II . 労務費	●762,590
(うち労務外注費	●292,170)
III . 外注費	●718,340
IV . 経費	●583,610
(うち人件費	●375,960)
V . 原価差異	●17,500
完成工事原価	3,531,510

問2 4点

¥

問3 各4点

(2)

完成工事原価への配分額 ¥

未成工事原価への配分額 ¥